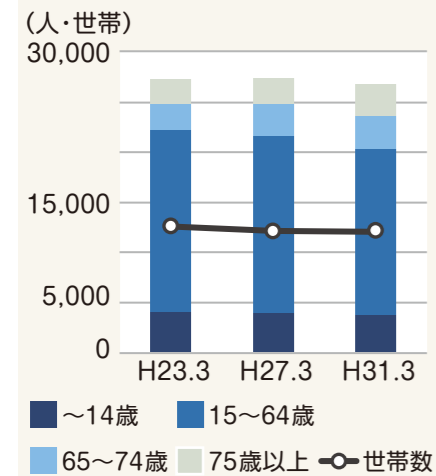


本牧・根岸地区の統計データ

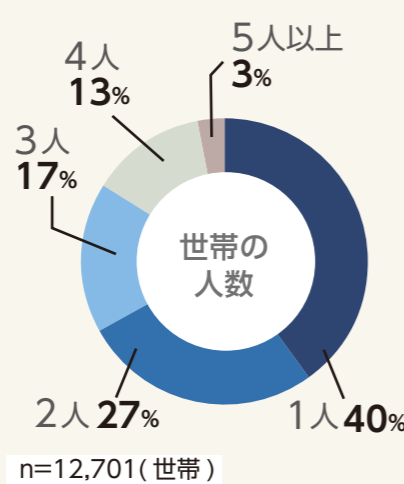
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	27,418	3,920	18,466	2,582	2,450	18.4	13,075	2.10
H27.3	27,678	3,868	17,966	3,180	2,664	21.1	12,824	2.16
H31.3	26,992	3,572	17,085	3,282	3,053	23.5	12,701	2.13

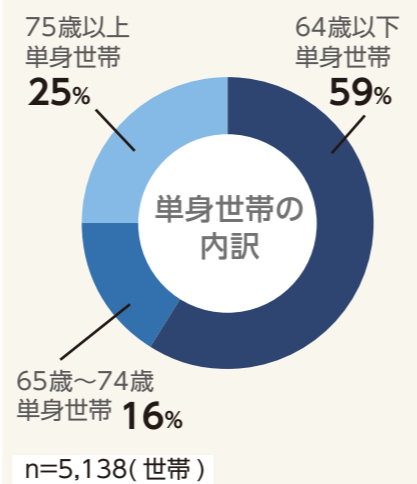
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

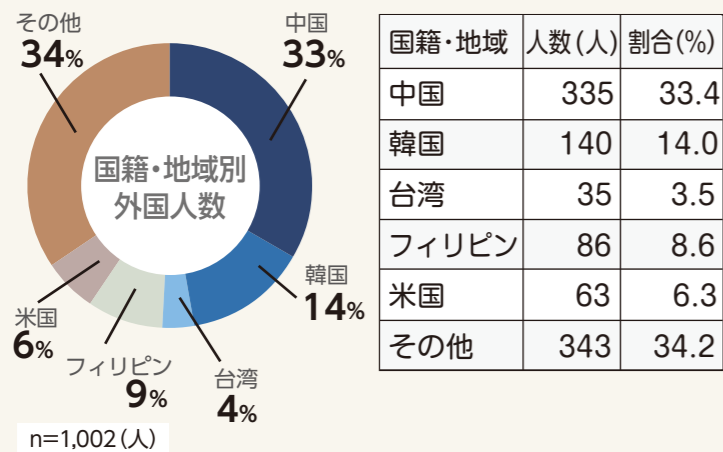
調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	12,746	5,084	39.9	809	1,176	1,146
H31.3	12,701	5,138	40.5	818	1,264	1,216
R2.3	12,834	5,298	41.3	822	1,317	1,250

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数 (H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	2,307	8.4
1年未満	1,479	5.4
1年以上5年未満	4,803	17.6
5年以上10年未満	3,941	14.4
10年以上20年未満	5,043	18.5
20年以上	5,255	19.2
不詳	4,499	16.5

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



データから見た本牧・根岸地区

- 総人口、世帯数ともにやや減少しています。特に、14歳以下と15歳～64歳の人口が減少し、高齢者は増加し、高齢化率が23.5%となっています。
- 子どもの数は減少していますが、他地区に比べ14歳以下の人口割合は13.2%と高く、区内で一番高いです。
- 単身世帯の割合は、他地区に比べ低くなっていますが、75歳以上の単身世帯数が区内で一番多く、増加しています。
- 居住年数にはばらつきがあります。
- 地区内の外国人数は1,002人ですが、多国籍の外国人が居住しています。



本牧・根岸地区

5年後の目指す姿

誰もが地域の一員として、安心して過ごせるまち本牧・根岸



本牧・根岸地区はこんなまちです

古い伝統があり、おしゃれな町並みの閑静な住宅街と、埋立地の埠頭や工場、製油所などがある地区です。大規模マンションの建設により、若い世代の人口が多く、様々な世代の活動や交流が活発に行われています。また、住民だけではなく、学校や企業、医療・福祉関係の事業所も地域とのつながりを大切に、地域活動に参加しています。



根岸町・根岸加曽台・池袋・矢口台・本牧間門・本牧荒井の一部・本牧三之谷・本牧大里町・本牧元町・本牧原の一部・錦町・かもめ町・千鳥町・豊浦町・本牧ふ頭・南本牧

これまでの計画(第3期)の振り返り

自治会町内会や民生委員・児童委員を中心に、サロンや高齢者食事会などが活発に行われています。様々な関係機関や地域活動団体が連携し、地域のつながりをつくるための活動をしています。コロナ禍により中止せざるを得ない活動もありましたが、本牧ライトアッププロジェクトやスプリングコンサートなど、世代を超えた交流ができる活動を続けています。

第4期計画はこのようにつくりました

本牧・根岸地区社会福祉協議会で、地区別計画の推進状況を共有し、取組に関する工夫や課題について話し合いました。また、地域に潜在するニーズや課題を把握するため、令和2年に地区懇談会を開催し、当事者や事業所等の地域で暮らす人や働く人のご意見を計画に反映しました。



第4期計画

目標	第4期の取組	取り組む理由	視点
誰もが気軽に参加でき、交流することができる場や機会を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> 現在取り組んでいる地域活動を継続していきます。 地域活動を知り、参加・交流ができるよう、広報紙等による情報発信をきめ細かく行います。 趣味を生かした交流など、気軽に参加ができる機会を検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代の人とつながり、地域の見守りにつなげたい。 生きづらさを抱えている人も地域で安心して生活を送れるよう、住民同士がつながりを持ちたい。 自分の知識や特技、趣味などを生かした活動をすることで、人とのつながりを持ち、地域での孤立を防ぎたい。そのための交流のきっかけを増やしたい。 	えん結び
地域のつながりを深め、住民同士で緩やかな見守りができるまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> サロンや高齢者食事会のほかにも、地域で「集まる場所」を増やします。 「集まる場所」まで来ることが困難な人のために、移動手段や解決に向けた工夫を検討します。 誰もが参加できるような活動を始めます。また、障害や認知症への理解が進むよう、講座や研修を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 引きこもりや虐待、貧困等の周りに助けを求めにくく、周りが気づきづらい困りごとについて、地域に関心を持ってもらいたい。 様々な課題に気づき、住民同士で緩やかな見守りができるよう、相互理解を深める取組が必要だと思う。 	えん結び その他
誰もが健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 世代を超えた健康づくりの方法を検討し、実践します。 自宅でできる健康体操やストレッチ方法などをインターネットやSNSを使って情報発信し、自分のペースで健康づくりに取り組めるよう支援します。 医療や福祉に関する制度やサービス、相談機関を知ってもらえるよう、講座や研修を企画します。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりが主な目的ではない活動でも、交流することで健康づくりにつながることがある。 with コロナ、after コロナを考えると、運動機能低下等を予防する必要がある。 住み慣れた地域で元気で生活するためには、健康につながる取組を多世代に向けて発信する必要があると思う。 住み慣れた場所で生活を続けるには、更なる健康づくりが必要だと思う。 	元気いっぱい
災害時に地域住民が力を合わせて対応することができる地域をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが防災の意識を持つことができるよう、避難訓練の実施や災害情報の提供を行い、備蓄品や避難所、ペットの同行避難などへの理解を深めます。 となり近所のひとり暮らし高齢者や障害がある人を把握し、いざというときに迅速かつ適切に避難ができるよう、地域での助け合いの関係性を構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、災害のリスクが高まる可能性がある。地域全体の意識は高いが、「自分のこと」として捉えている人が少ないという声がある。 単身世帯の多い地域や介護・医療的ケアが必要な人、障害のある人などへの支援を考える必要がある。 	元気いっぱい その他

本牧・根岸地区

5年後の目指す姿

誰もが地域の一員として、
安心して過ごせるまち本牧・根岸



本牧・根岸地区は こんなまちです

古い伝統があり、おしゃれな町並みの閑静な住宅街と、埋立地の埠頭や工場、製油所などがある地区です。大規模マンションの建設により、若い世代の人口が多く、様々な世代の活動や交流が活発に行われています。

また、住民だけではなく、学校や企業、医療・福祉関係の事業所も地域とのつながりを大切に、地域活動に参加しています。



根岸町・根岸加曾台・池袋・矢口台・本牧間門・本牧荒井の一部・本牧三之谷・本牧大里町・本牧元町・本牧原の一部・錦町・かもめ町・千鳥町・豊浦町・本牧ふ頭・南本牧

これまでの計画(第3期)の振り返り

自治会町内会や民生委員・児童委員を中心に、サロンや高齢者食事会などが活発に行われています。様々な関係機関や地域活動団体が連携し、地域のつながりをつくるための活動をしています。コロナ禍により中止せざるを得ない活動もありましたが、本牧ライトアッププロジェクトやスプリングコンサートなど、世代を超えた交流ができる活動を続けています。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>誰もが気軽に参加でき、交流することができる場や機会を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在取り組んでいる地域活動を継続していきます。 ● 地域活動を知り、参加・交流ができるよう、広報紙等による情報発信をきめ細かく行います。 ● 趣味を生かした交流など、気軽に参加ができる機会を検討していきます。
<p>地域のつながりを深め、住民同士で緩やかな見守りができるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サロンや高齢者食事会のほかにも、地域で「集まる場所」を増やします。 ● 「集まる場所」まで来ることが困難な人のために、移動手段や解決に向けた工夫を検討します。 ● 誰もが参加できるような活動を始めます。また、障害や認知症への理解が進むよう、講座や研修を開催します。
<p>誰もが健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 世代を超えた健康づくりの方法を検討し、実践します。 ● 自宅でできる健康体操やストレッチ方法などをインターネットやSNSを使って情報発信し、自分のペースで健康づくりに取り組めるよう支援します。 ● 医療や福祉に関する制度やサービス、相談機関を知ってもらえるよう、講座や研修を企画します。
<p>災害時に地域住民が力を合わせて対応することができる地域をつくりまします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人ひとりが防災の意識を持つことができるよう、避難訓練の実施や災害情報の提供を行い、備蓄品や避難所、ペットの同行避難などへの理解を深めます。 ● とより近所のひとり暮らし高齢者や障害がある人を把握し、いざというときに迅速かつ適切に避難ができるよう、地域での助け合いの関係性を構築します。

第4期計画はこのようにつくりました

本牧・根岸地区社会福祉協議会で、地区別計画の推進状況を共有し、取組に関する工夫や課題について話し合いました。また、地域に潜在するニーズや課題を把握するため、令和2年に地区懇談会を開催し、当事者や事業所等の地域で暮らす人や働く人のご意見を計画に反映しました。



取り組む理由

視点

- 様々な世代の人とつながり、地域の見守りにつなげたい。
- 生きづらさを抱えている人も地域で安心して生活を送れるよう、住民同士がつながりを持ちたい。
- 自分の知識や特技、趣味などを生かした活動をすることで、人とのつながりを持ち、地域での孤立を防ぎたい。そのための交流のきっかけを増やしたい。

えん結び

- 引きこもりや虐待、貧困等の周りに助けを求めにくく、周りが気づきづらい困りごとについて、地域に関心を持ってもらいたい。
- 様々な課題に気づき、住民同士で緩やかな見守りができるよう、相互理解を深める取組が必要だと思う。

えん結び
その他

- 健康づくりが主な目的ではない活動でも、交流することで健康づくりにつながることもある。
- with コロナ、after コロナを考えて、運動機能低下等を予防する必要がある。
- 住み慣れた地域で元気で生活するためには、健康につながる取組を多世代に向けて発信する必要があると思う。
- 住み慣れた場所で生活を続けるには、更なる健康づくりが必要だと思う。

元気いっぱい

- 今後、災害のリスクが高まる可能性がある。地域全体の意識は高いが、「自分のこと」として捉えている人が少ないという声がある。
- 単身世帯の多い地域や介護・医療的ケアが必要な人、障害のある人などへの支援を考える必要がある。

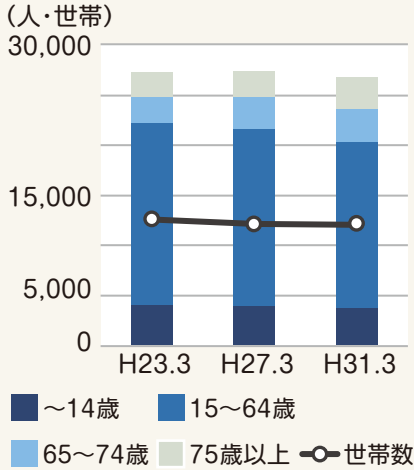
元気いっぱい
その他

本牧・根岸地区の統計データ

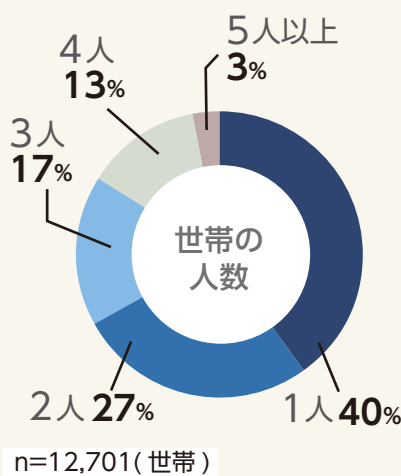
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	27,418	3,920	18,466	2,582	2,450	18.4	13,075	2.10
H27.3	27,678	3,868	17,966	3,180	2,664	21.1	12,824	2.16
H31.3	26,992	3,572	17,085	3,282	3,053	23.5	12,701	2.13

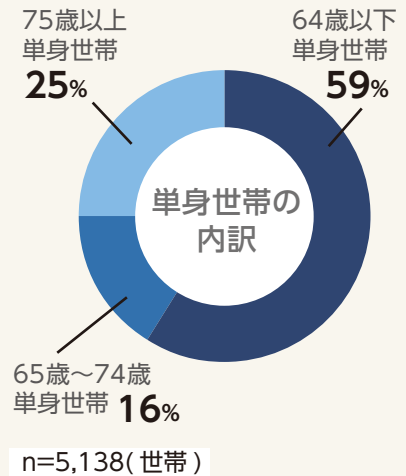
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

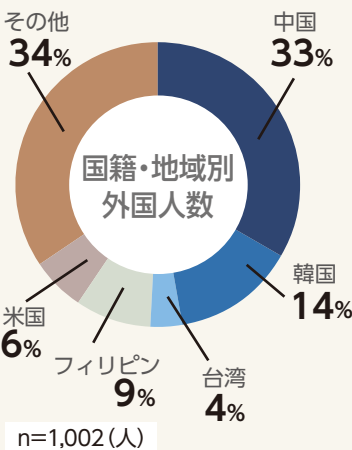
調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	12,746	5,084	39.9	809	1,176	1,146
H31.3	12,701	5,138	40.5	818	1,264	1,216
R2.3	12,834	5,298	41.3	822	1,317	1,250

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数 (H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	2,307	8.4
1年未満	1,479	5.4
1年以上5年未満	4,803	17.6
5年以上10年未満	3,941	14.4
10年以上20年未満	5,043	18.5
20年以上	5,255	19.2
不詳	4,499	16.5

地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



国籍・地域	人数(人)	割合(%)
中国	335	33.4
韓国	140	14.0
台湾	35	3.5
フィリピン	86	8.6
米国	63	6.3
その他	343	34.2

データから見た本牧・根岸地区

- 総人口、世帯数ともにやや減少しています。特に、14歳以下と15歳～64歳の人口が減少し、高齢者は増加し、高齢化率が23.5%となっています。
- 子どもの数は減少していますが、他地区に比べ14歳以下の人口割合は13.2%と高く、区内で一番高いです。
- 単身世帯の割合は、他地区に比べ低くなっていますが、75歳以上の単身世帯数が区内で一番多く、増加しています。
- 居住年数にはばらつきがあります。
- 地区内の外国人数は1,002人ですが、多国籍の外国人が居住しています。